

所 属	県土整備部 道路維持課		
担当(係)名	維持管理担当	内線	3736

予防保全的な維持管理の実施

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
2,368,900	国庫 589,725	工事請負費 2,075,130
(前年度	県債 1,707,600	(舗装補修・橋りょう補修工事)
2,266,000)	一財 66,575	

2 背景・現状

昭和40年代以降、経済成長と同時に橋りょう、舗装等の道路施設が集中的に整備されてきたが、今後、これらの道路施設は急速に老朽化が進み、本県が管理する道路橋4,339橋のうち、架設後40年以上経過した橋りょうは1,430橋(33%)、10年後には2,297橋(53%)となる。

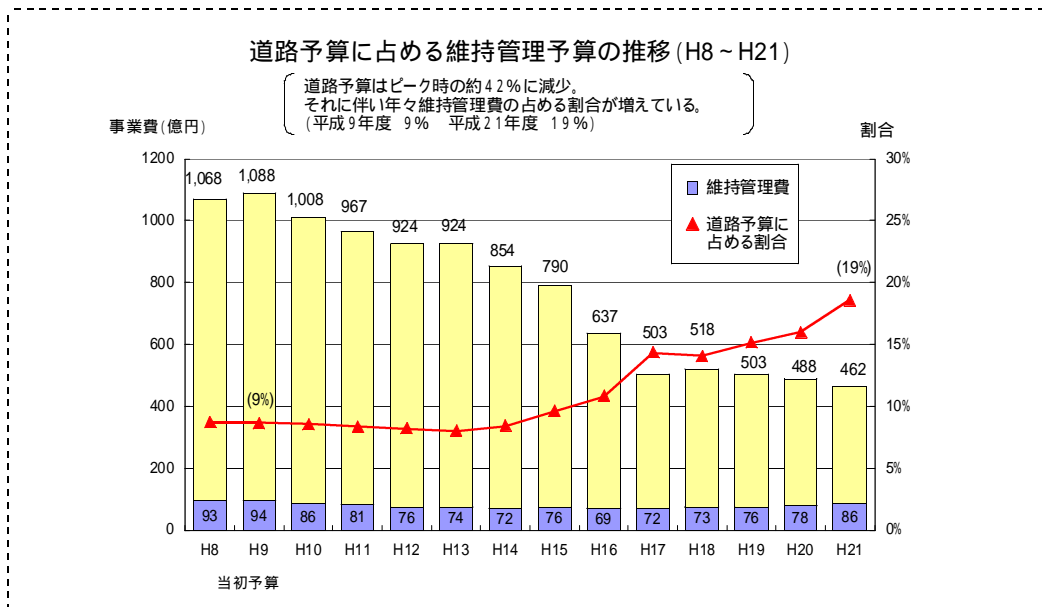
こうした中、道路施設を安全に利用するためには、老朽化した施設を修繕するための多大な経費が必要であり、今後、こうした経費の急激な増高への適切な対応が課題となっている。

3 事業目的

道路施設に大きな損傷が出てから補修を行う「対症療法的修繕」から、損傷が軽微なうちに補修を行う「予防保全的修繕」へ転換する維持管理の手法(アセットマネジメント)を導入し、施設の長寿命化とトータル的な補修コストの低減を図り、道路施設の安全性を確保する。

4 事業概要

平成22年度は適切な点検の実施による劣化損傷の将来予測と補修方法の検討と上記に基づく適切な補修を実施する。



(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) (2) 道路橋りょう維持費
(明細書事業名) 公共事業他
舗装道補修費他